

出生届

令和 年 月 日 届出

長 殿

受 理		令和 年 月 日				
第		号				
書類調査	戸籍記載	記載調査	調 査 票	附 票	住 民 票	通 知

(1) 生 (2) ま (3) れ (4) た 子	(よ み か た) 子 の 氏 名 (外国人のときは ローマ字を付記 してください)	氏	名	父母と の 続き柄	☐ 嫡 出 子 ☐ 嫡出でない子	☐ 男 ☐ 女
	生まれたとき	令和 年 月 日		☐ 午前 ☐ 午後	時 分	
	生まれたところ	番地 番 号				
	住 所 (住民登録をする ところ)	世帯主 の氏名 世帯主と の続き柄				
(5) 生 (6) ま (7) れ (8) た 子 の 父 と 母	父 母 の 氏 名 生 年 月 日 (子が生まれたとき の年齢)	父	母	年 月 日 (満 歳)	年 月 日 (満 歳)	
	本 籍 (外国人のときは 国籍だけを書いて ください)	番地 番				
	同居を始めた とき	年 月 (結婚式をあげたとき、または、同居を始め たときのうち早いほうを書いてください)				
	子が生まれた ときの世帯の おもな仕事と	☐ 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 ☐ 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 ☐ 3. 企業・個人商店等（官公庁は除く）の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯（日々または1年未満の契約の雇用者は5） ☐ 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯（日々または1年未満の契約の雇用者は5） ☐ 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 ☐ 6. 仕事をしている者のいない世帯 (国勢調査の年… 年…の4月1日から翌年3月31日までに子が生まれたときだけ書いてください)				
(9)	父 母 の 職 業	父の職業		母の職業		
そ の 他						
届 出 人	☐ 父 ☐ 1. 母 ☐ 2. 法定代理人 () ☐ 3. 同居者 ☐ 4. 医師 ☐ 5. 助産師 ☐ 6. その他の立会者 ☐ 7. 公設所の長					
	住 所					
	本 籍	番地 番	筆頭者 の氏名			
	署 名 (※押印は任意)	印	年 月 日生			
事 件 簿 番 号						

※ 出生届の手続について、悩みや困りごとがあれば、お近くの市区町村又は法務局にご相談ください。

出生届を届け出なければ、その子の戸籍がつくれず、不利益を被るおそれがあります。

詳しくは法務省のホームページをご覧ください。

Q 無戸籍 法務省

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かなくてください。

子が生まれた日からかぞえて14日以内に提出してください。

子の名は、常用漢字、人名用漢字、かたかな、ひらがなで書いてください。子が外国人のときは、原則かたかなで書くとともに、住民票の処理上必要ですから、ローマ字を付記してください。

よみかたは、戸籍には記載されません。住民票の処理上必要ですから書いてください。

☐には、あてはまるものに☑のようにしるしをつけてください。

筆頭者の氏名には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

子の父または母が、まだ戸籍の筆頭者となっていない場合は、新しい戸籍がつくれますので、この欄に希望する本籍を書いてください。

届け出られた事項は、人口動態調査（統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管）にも用いられます。

出生証明書

子 の 氏 名			男女 の別	1 男 2 女
生まれたとき	令和 年 月 日	午前 時 分 午後 時 分		
出 生 し た と ころ 及 び そ の 種 別	出生したところ の 種 別	1 病院 4 自宅	2 診療所 5 その他	3 助産所
	出生した と ころ	番地 番 号		
	(出生したところ の種別 1～3) 施設の名称			
(11) 体重及び身長	体重	グラム	身長	センチメートル
	単胎・ 多胎の別	1 単胎 2 多胎 (子中第 子)		
(13) 母 の 氏 名		妊娠 週数	満 週 日	
(14) この母の出産 した子の数	出生子（この出生子及び出生後 死亡した子を含む） 死産児（妊娠満22週以後）		人 胎	
(15) 1 医 師 2 助産師 3 その他	上記のとおり証明する。 令和 年 月 日 (住所)		番地 番 号	
	(氏名)			

記入の注意

夜の12時は「午前0時」、
昼の12時は「午後0時」と
書いてください。

体重及び身長
は、立会者が医
師又は助産師以
外の者で、わか
らなければ書か
なくてもかまいません。

この母の出産
した子の数は、
当該母又は家人
などから聞いて
書いてください。

この出生証明
書の作成者の順
序は、この出生
の立会者が例え
ば医師・助産師
ともに立ち会っ
た場合には医師
が書くように
1、2、3の順
序に従って書い
てください。

この欄は父、母又はその法定代理人である届出人が記載してください。

地方公共団体情報システム機構 宛
(出生届の届出地市区町村長 宛)

個人番号カード交付申請書 兼 電子証明書発行申請書

申請にあたり、以下について記入してください。

☑氏名、住所、生年月日、性別は出生届に記載された内容と同じです

☑住所又は住所以外の希望した送付先に確実に個人番号カードを受けとれます

①利用者証明用電子証明書暗証番号					☐ 利用者証明用電子証明書の発行を希望しない
②住民基本台帳用暗証番号【必須】					③券面事項入力補助用暗証番号【必須】
④個人番号カード送付先 【住所地域以外への送付を希望する場合】					
⑤住所において個人番号カードの送付を 受けることができない理由					
⑥連絡先電話番号【必須】					

(注)

①利用者証明用電子証明書を利用するための暗証番号です。

利用者証明用電子証明書……インターネットを閲覧する際に、利用者本人であることを証明する仕組みであり、健康保険証としての利用などに必要です。
利用者証明用電子証明書の発行を希望しない場合、①の欄に暗証番号は記入せず、☐に✓をつけてください。

②住民票コードをテキストデータとして利用するための暗証番号です。

③個人番号や基本4情報を確認し、テキストデータとして利用するための暗証番号です。

④個人番号カードは、簡易書留等により住所先へ送付されます。住所地域以外の地を個人番号カードの送付先とする場合のみ記載してください。

※出生届、出生証明書に記載された事項は、この申請にも用いられます。

※電子証明書について、氏名のコンピュータ入力に際して画面上に正確に表示されない文字（代替対象文字）は、代替文字に置き換わります。

代替文字を変更したい場合は、個人番号カードの交付後に、住所地区区町村長へその旨を申し出てください。